

第6学年1組 体育科学習指導案

平成28年6月13日(月)第5校時
児童数23名(男子11名女子12名)
指導者 土屋智治
場所 校庭

1 単元名 「短距離走・リレー」(陸上運動)

2 単元設定の理由

(1) 児童の実態について

本学級の児童は欠席も少なく元気であり、体育学習にも意欲的に取り組んでいる。男女の仲も良いが、積極的にグループで活動することが得意な児童と、消極的になりがちな児童が見られる。

前単元のソフトバレーボールでは、勝負に強いこだわりを持つ児童も見られたが、一緒に練習をしたり、友達と言葉かけをしたりする中でチームへの従属感が生まれ、良い雰囲気ですべてを終えることができた。

【運動に関わる実態調査(平成28年5月27日実施 調査人数23名)】

① 体育の授業は、好きですか。

とても好き 13人	好き 3人	あまり好きではない 6人	好きではない 1人
-----------	-------	--------------	-----------

② 走る運動は、好きですか。

とても好き 8人	好き 6人	あまり好きではない 5人	好きではない 4人
----------	-------	--------------	-----------

③ 走る運動の授業が「楽しい」と思う時はどんな時ですか。(複数可)

- ・めあてが達成できた時(11人)
- ・チームワークがよくできた時(12人)
- ・力いっぱい体を動かした時(7人)
- ・友達や先生にほめられた時(7人)

④ 走る運動の授業が「楽しくない」と思う時はどんな時ですか。(複数可)

- ・友達に文句を言われた時(13人)
- ・友達がふざけている時(7人)
- ・反則された時(7人)
- ・めあてが達成できなかった時(7人)

⑤ 走る運動を楽しむために、大切なことは何ですか。(複数可)

- ・チームワークを大切に楽しくやる(21人)
- ・みんなで声をかけあう(15人)
- ・文句を言わない(16人)
- ・ミスした人をせめない(20人)

体育を好きと答えている児童は、7割である。また、走る運動が好きではない児童の理由は「自分の足が遅いから」「自分が走ってみんなに何か言われてしまうかもしれないから」「苦手だから」「走る疲れはいやだから」「つまらないから」などがあった。つまり、足の速い子と自分を比べると劣っていると感じたり、走る楽しさを十分に感じられていなかったりする実態がある。

(2) 単元について

自分たちで決めたルールでオーダーやバトンパスを工夫しながら、チーム同士で勝ち負けを競い合う運動である。チームの記録に挑戦して、記録を達成したりすることの楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

(3) 指導について

児童1人1人の思いを生かした授業を行うために、「①どの児童（チーム）も勝てる機会を設ける」、「②友達や教師からたくさん言葉かけをされたり、声をかけあったりする（自己有用感につながる）」ことが大切になる。また、態度面として、「①チームワークを大切に楽しくやる」、「②ミスした人をせめない」ことから、仲間と関わり合うことによって運動の楽しさや特性を味わわせる指導をしていきたい。

3 研究主題との関わり

本校では、研究主題を「まごころをつくしあい、みんな仲よく、たゆまず学び続ける児童の育成」として研究を進めている。

本時は、人権教育上のねらいを普遍的な課題「人間関係作り」におき、お互いのよさやちがいを認め合い、助け合う中で人間関係の基礎的なことを身に付けさせたい。

【仮説】グループ学習（仲間との教え合い）を行うことで、意欲的に学習に取り組むことができるであろう。

〈手立て①〉グループごとにポイントをおさえた教え合い

毎回の主運動の始めに、バトンパスやかけ声を確認する時間を設ける。特に、単元の始めの方は、教師の言葉かけを多くし、走り方のコツやバトンパスのコツなどを丁寧に指導していく。また、児童同士でもスタートするタイミングやバトンの受け渡し方などお互いに確認し合ってから、活動を始める。

〈手立て②〉児童同士の肯定的な声かけ

教師による言葉かけが少ないという児童の実態調査の結果から、教師による言葉かけのモデリングを行い、児童同士の言葉かけにつなげる。また、チームの雰囲気をも高めるためのファイトコール、ハイタッチなどを行う。

〈手立て③〉 ナイスラン（友達の良いところを見つけよう）

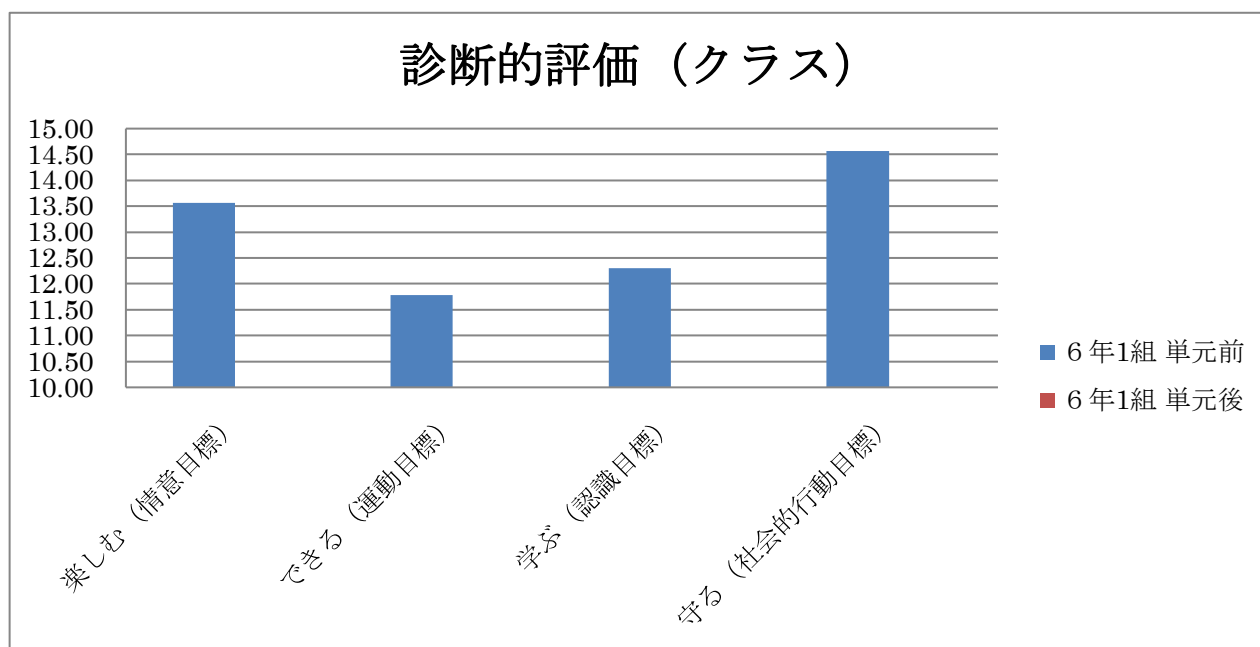
学習カードに①友達に言われてうれしかった言葉（意欲面）と②自分の勉強になった言葉（技能面）に分けて、毎時間書く。感想発表や次時の始まりでの発表、クラスに常時掲示しておくなど、自分の言葉がクラスに還元されるようにして、自己有用感を高める。

〈手立て④〉 診断的授業評価や形成的授業評価、児童の言葉かけの分析

単元前後の診断的授業評価や形成的授業評価を行うことにより、どんな手立てが有効だったかを検証する。

また、毎時間教師や友達から言葉かけがあったか、可能ならどんな声かけがあったかなども検証する。

[各項目15点満点で算出される。下記の表は、単元前である。(平成28年5月27日実施 調査人数23名)]



→「守る」では、“話を聞く”や“ルールを守る”など、高い数値が表れた。

→「できる」の中でも、“私は上手に運動ができる方だと思います”（運動有能感）が全項目中で最も低かった。

4 単元の目標

- (1) 課題を持って意欲的に取り組み、ルールを守りタイムや勝敗に対して公正な態度をとることができるようにする。(関心・意欲・態度)
- (2) チームや個人の課題解決を目指して工夫して取り組むことができるようにする。
(思考・判断)
- (3) 減速の少ないバトンパスをすることができるようにする。(技能)

5 単元の計画（4時間扱い） ※本時は○印 2 / 4時

時間	1	②	3	4
	集合・整列・あいさつ・健康観察・準備運動			
5 15	【オリエンテーション】 ・学習のねらいや進め方 ・準備、約束の確認 ↓ ・チーム編成 ・慣れの運動 ・試しのリレー ・全員リレー ・タイムを縮めるには	【慣れの運動】 （ウォーミングアップタイム） ①ダッシュ（いろいろな姿勢で） ②ベースランニング ③ジョギングパス <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <ねらい>スピードに乗ったバトンパスを身に付けよう！ </div>		
40		【主運動】 （レベルアップタイム） ①スタートマーク鬼ごっこ ②スタートマークバトンパス ③色別対抗リレー ④きらりタイム（示範・作戦） （⑤色別対抗リレー）		6-1 全員 リレー大会
	後片付け・まとめ・整理運動・あいさつ			

6 人権教育上のねらい（普遍的な課題「人間関係作り」）

友だちのよさやちがいを認め合い、助け合う中で、人間関係の基礎的なことを身に付ける。

7 人権教育上の視点

- (1) 互いに伝え合い、わかり合うためのコミュニケーションの能力を高める。(技能)
- (2) お互いの良さや違いを大切に、共通の目標に向かって努力する態度を育てる。(態度)

8 本時の学習と指導（本時2 / 4）

- (1) ねらい 上体をリラックスさせて全力で走ることができる。(技能)
- (2) 準備 提示資料、カラーコーン(10本)、得点板、ストップウォッチ、記録用紙、ホイッスル
- (3) 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導◆評価◎人権教育上の配慮）
導入 15分	1 集合・整列・挨拶・健康観察 2 準備運動 3 慣れの運動 （ウォーミングアップタイム） ①ダッシュ（いろいろな姿勢	○素早く集合・整列させ、元気のよい挨拶で学習を始める。 ○健康観察を行い、児童一人一人の様子を把握する。 ○準備運動はチーム毎に円になって本時の運動に必要な部位を意識させながら行わせる。 ○慣れの運動を始める前に、チームごとにファイトコールを行わせ、各チームを称賛する。 ○練習ごとにポイントとなる助言を行う。

	<p>で) ②コーンランニング ③ジョギングパス</p>	<p>○単元を通して動き方や姿勢など技能の向上が見られるところを具体的に称賛する。</p> <p>○一つ一つの動きを正確に行っているか確認し、ねらいからはずれた動きをしている児童を指導する。</p>
<p>展開 2分 3分</p>	<div data-bbox="256 436 564 584" data-label="Image"> </div> <p>5 主運動 (レベルアップタイム)</p> <p>①スタートマーク鬼ごっこ ↓ ②スタートマークバトンパス (ゴー&ハイ)</p> <div data-bbox="264 1016 683 1279" data-label="Text" style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【バトンの渡し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腕を伸ばして! ・バトンを立てて 押し込む! </div> <div data-bbox="256 1375 671 1944" data-label="Text" style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【バトンの受け方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肘を伸ばして! →いつ? ・掌を開いて! →いつから? ・後ろを見ないで →いつから? ・スピードに乗ってとは? →前走者と自分の距離? 速さ? </div>	<div data-bbox="635 506 1437 566" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「上体をリラックスさせて、力いっぱい走ろう！」</p> </div> <p>○「リラックスとは、心と体のリラックスである」ことをおさえ、具体的にどのようにすればリラックスして走れるかを考えさせる発問をする。</p> <p>○ボードを活用し、チームの作戦や各自のめあてを確認させる。また、前時のまとめを生かし、ルールやバトンパスの確認を行わせる。</p> <p>○ペアでのバトンパスを上達させるために、前走者が「ゴー!」、受け手が「ハイッ!」の声をかけながら練習を行わせる。</p> <div data-bbox="719 936 1433 1055" data-label="Text" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>◆上体をリラックスさせて、全力で走ることができる。(技能)</p> </div> <p>【努力を要する児童 (チーム) への手だて】</p> <p>○待つ姿勢や前走者との距離が適切かを確認するよう声をかける。</p> <p>【十分満足できると判断できる児童 (チーム) への発展的な内容】</p> <p>○視線や足の動きを速くさせることで良いスタートが切れることアドバイスする。</p> <p>○今日のめあてができていないかを、表情や体の使い方などから判断する。</p> <div data-bbox="703 1473 1453 2011" data-label="Text" style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【走り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・右腕を大きく振る! ・内側に体を傾けて! ○肘 <ul style="list-style-type: none"> ・曲げて前後に真っすぐ! 後ろに大きく引く! ○腕 <ul style="list-style-type: none"> ・前後に大きく! ・力を入れなくて素早く! ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・上半身はリラックス♪ ・まっすぐ前を見て! </div>

	<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">[作戦や走る順序の確認]</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>③色別対抗リレー</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>④きらりタイム(示範・作戦)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(⑤色別対抗リレー)</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○チームの意識を高めるために、ファイトコールやドンマイコールをかけさせる。 ○声をかけながら競走に取り組むことを心がけさせる。 <div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎きらりタイムで見た友達のよい動きを称賛し、後半のリレーでまねさせたり、教え合わせたりする。(技能) ○走者の順や各チームの特徴で結果が変わることを助言する。 ○よい動きや言葉かけの上手な児童を称賛する。 <div style="text-align: right;">  </div>
<p>整理 7分</p>	<p>6 後片付け 7 本時の学習のまとめ・整理運動・あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○協力して安全かつ素早くできているか確認する。 ○今日の記録から結果(得点)を発表する。 ◎意欲的に活動していた児童や協力していたチーム及びめあてを達成できた児童等を称賛し、称え合う。(態度) ○次時の予告をし、意欲付けを図る。 ○けが等がないか確認し、気持ちのよいあいさつで学習を終える。

授業の写真



